

## 第3学年 技術・家庭科学習指導案

### 1 単元名 マルチメディアを利用して表現や発信をしよう

### 2 単元の評価規準

観点	生活や技術への 関心・意欲・態度	生活を工夫し創造する 能力	生活の技能	生活や技術についての 知識・理解
評価 規 準	すすんで作品の製作 に取り組み情報の収 集や発信を生活にい かそうとする。	情報を的確に伝える ために Web ページの 構成や文字の大きさ 表現の工夫ができる。	ソフトウェアの基本的な操 作ができる。	Web ページのしく みを理解する。 情報モラルについて 理解できる。

### 3 単元について

#### ○（本単元において、つきたい力と教材化の関連性や、有効性について）

高度情報通信社会の進展はめざましく、社会全体が IT 化へ進む中で、子供たちの周囲にはあらゆる情報が溢れている。この情報化社会に適応するためには、情報を効率よく収集し、生活を豊かにするために活用することが必要である。つまり、情報活用能力の育成が重要な課題となる。情報活用能力の育成には、情報を的確に受け取るだけではなく、自ら情報の取捨選択をし、情報の発信者としての資質を養う教育が重要になってくる。また、情報発信に関わって著作権侵害の問題やプライバシー侵害の問題、情報犯罪の問題など情報化社会の光と影の部分についても正しく判断する力が必要になる。

本単元では、Web ページの作成を通して情報収集の方法を学び情報活用の方法や、情報の発信について考えさせたい。また、Web ページの作成テーマについては、生徒の身近に存在する油山の豊かな自然を題材とした「油山の自然」とし、油山の自然に関するあらゆる情報(植物分布、生物の生態、四季の風景、地形の特色、岩石、油山の自然と歴史、油山の施設や建造物等)を収集し地域の情報として発信することで生徒の関心を高め、情報活用能力の向上につなげたい。

#### ○（生徒の実態について）

本校3年生の80%の生徒がパソコンへの関心があると答えており、授業の中でコンピュータ操作に意欲的に取り組んでいる。家庭でパソコンを使用している生徒は80%を超えており、そのほとんどはインターネットでの調べ物である。8%の生徒は文書作成や表計算ソフトなどを使用している。しかし、Web サイトの閲覧はできるが Web サイトの作成方法はほとんどの生徒が知らない。

#### ○（指導にあたって：指導内容や指導方法の留意点や工夫点）

本単元の指導にあたっては、まず、Web ページの制作におけるマルチメディア素材の収集方法や基本的なソフトウェアの操作方法を習得させ、情報活用能力の向上を図りたい。次に、多くの Web ページの閲覧をさせ、レイアウトやデザインについて工夫しているところに気づかせる。さらにマルチメディア素材の収集方法やソフトウェアの操作方法を知らせる。ここでは、「油山の自然」という身近な題材をテーマにした Web ページを制作させる。最後に、作品を相互評価し、良い点や改善すべき点を発表させ、自分の作品の改善につなげる。また、情報モラルを意識した Web ページの制作ができたか自己評価させる。

5 本時 5校時 PC 教室 (10 / 12)

・本時の指導観

前時までに生徒は、Web ページの作成について学び、「〇〇中学校を紹介しよう」というテーマで約 5 ページの Web ページ作成に取り組んできた。〇〇中学校の所在地、校舎、生徒会活動、部活動、油山の自然についてのページを作成し、その作成過程でワープロソフト、表計算ソフト、図形処理ソフトを活用した。多くの生徒は意欲的に取り組んでいる。理解の遅い生徒には生徒が教えあう姿も見られた。

本時は、「油山の自然」をテーマにした作品を班ごとに発表し、次に、グループでお互い発表した作品について良い点と改善すべき点をまとめる。さらに、意見交換をし、作品の良い点と改善すべき点を相互評価する。

①本時の評価規準・評価方法

関：作品をテーマに沿ってわかりやすく発表しようとしている。 <様相チェック>
工：Web ページの内容がテーマに沿った組み立てになっている。 <作品分析>

②資料等 学習プリント(発表の原稿と記録)

③本時の指導計画・評価計画

過程	学 習 活 動	指導上の留意点	B・Aの状況 Cの生徒への手だて	形態	配時
導 入	1. 前時の学習内容を確認する。			一斉	2
展 開	2. 本時の学習目標を確認する。 わかりやすく作品を発表しよう	発表の仕方を確認する	A発表原稿をまとめ ポイントをわかりやすく作品を発表できる	個人	3
	3. 作品を発表する ・プロジェクターでの紹介 ・作品内容の説明	① Web ページをわかりやすく発表しよう ②グループで意見をまとめよう ③評価のプリントをまとめよう	B原稿に沿って作品の発表ができる C発表の内容を指示し意欲を喚起する		17
ま と め	4・作品の相互評価 ・作品の良い点と改善すべき点をグループでまとめる	評価プリントの記入について説明をする	A発表を真剣に聞き適切な評価ができる B発表を聞きプリントにまとめた内容を報告できる C発表の内容をプリントにまとめるように指示する	グループ	10
	5. 意見交換 ・作品の良い点と改善すべき点を発表する	プリントの記録を見て良い点と改善点を発表する		一斉	15
	・本時の学習のまとめをおこなう ・次時の確認				2
					1

(音楽) 学習アンケート 1年組 番  
氏名 ( )

このアンケートはコース別課題学習という音楽の授業を行うときに、君たちが自分で学習目標や活動計画を立てたり、先生がグループ分けをするときに必要なものです。自分に正直に書いてください。

1 あなたは自分で音楽をつくったり演奏したりすることは好きですか。

- ①好き                      ②そうでもない                      ③嫌い

2 あなたはTVドラマやアニメ、CMなどのBGM(バックミュージック)などを真剣に聴いたり、興味をもって聴いたりしたことはありますか。

- ①ある                      ②あまりない                      ③ほとんどない

3 あなたは耳を澄ませて外の音を聴いたり、じっくり音楽を聴いたりすることは好きですか。

- ①好き                      ②そうでもない                      ③嫌い

4 あなたは民話(物語)に音や音楽をつけることに興味がありますか。

- ①ある                      ②あまりない                      ③ほとんどない

5 あなたは民話(物語)に音や音楽をつける場合、どの方法で行いたいですか。または興味がありますか。下から3つ優先順位を決めて書いてください。番号で答えましょう。

- ①現在ある音楽CDを編集してBGMにする。  
②CDの効果音を使って行う。  
③効果音CDは使わずに楽器で生演奏する。  
④民話(物語)に合う旋律(メロディー)をつかって生で演奏するか録音して編集し演奏する。  
⑤その他 ( )

第1希望	第2希望	第3希望

第1希望に選んだ理由を書いてください。

-----

自己評価表

1年組 番氏名 ( )

	評価活動及び内容	自己評価	感想及び反省	先生から
第1時 /	<ul style="list-style-type: none"> <li>・真剣に「日本昔ばなし」のVTRみることができた。</li> <li>・VTRのなかの音や音楽を注意深く聴くことができた。</li> <li>・自分の特性を考えながらレディネステストを受けた。</li> <li>・音や音楽のイメージがふくらんだ。</li> </ul>	A B C D E A B C D E A B C D E A B C D E		
第2時 /	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に話し合いに参加できた。</li> <li>・民話に合った音や音楽を探すことができた。</li> <li>・発表グループのよさや改善点がわかった。</li> <li>・グループで協力して試しの発表ができた。</li> </ul>	A B C D E A B C D E A B C D E A B C D E		
第3時 /	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に話し合いに参加して役割分担ができた。</li> <li>・自分に合った役割を担当することができた。</li> <li>・グループで協力して活動計画を立てた。</li> <li>・効果音や効果音楽を積極的に探した</li> </ul>	A B C D E A B C D E A B C D E A B C D E		
第4時 /	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで協力して意欲的に取り組んだ。</li> <li>・いろいろな音や音楽を試すことができた。</li> <li>・民話に合った音づくりや選曲をした。</li> <li>・何回も音づくりや音楽づくりに取り組んだ。</li> </ul>	A B C D E A B C D E A B C D E A B C D E		
第5時 /	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで協力して意欲的に取り組んだ。</li> <li>・いろいろな音や音楽を試すことができた。</li> <li>・民話に合った音づくりや選曲をした。</li> <li>・グループ練習で自分のイメージを表現した。</li> </ul>	A B C D E A B C D E A B C D E A B C D E		
第6時 /	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで協力して発表会ができた。</li> <li>・民話の雰囲気を生かした表現ができた。</li> <li>・他の生徒の評価を真剣に聞いた。</li> <li>・表現のおもしろさや、音や音楽のすばらしさがわかった。</li> </ul>	A B C D E A B C D E A B C D E A B C D E		

## 試しの発表評価表

民話の一部分に音や音楽をつけてみよう。

(他の班の発表を聴いて)

班	他の班の工夫点 (目玉)	よかったところ	改善した方がよいところ
班			
班			
班			
班			
班			
自 分 の 班	自分の班の工夫点(目玉)	活動でうまくいった点	失敗したところ (改善点)
班			